



# 町村自治

7月 2012 平成 24年

● 発行所 青森県町村会 ● 編集発行人 山口 昇 ● 印刷所 長尾印刷株式会社  
〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号(年4回発行) TEL 017-723-1331 FAX 017-723-1347  
ホームページ <http://www.aomori-chousonkai.jp/> E-mail [ack@aomori-chousonkai.jp](mailto:ack@aomori-chousonkai.jp)



## ナイスショット！ジュニアゴルフ教室開講！！

子どもたちにゴルフの魅力や楽しさを伝えようといわれているゴルフ教室は、六戸町のユニークな取り組みの1つ。十和田国際カントリークラブの練習場が開放され、六戸高校ゴルフ部の生徒やボランティアの指導員がレッスンをサポートしています。週末になると、子どもたちが夢中で「打ちっぱなし」を楽しんでいます。

【No. 1195】

〔メイプルジュニアクラブゴルフ教室 ろくのへまち 六戸町〕

- 平成25年度重点施策の  
国会議員説明会等 ..... 2
- 市町村長会議（町村の部）... 4
- 豪雪等による  
農業被害対策要望 ..... 6
- 県立高等学校教育改革第3次... 7  
実施計画（後期）に関する要望
- いまが旬！.....12
- 随想 吉田六戸町長.....16

行くたび、  
あたらしい。

**青 AOMORI 森**



マスコットキャラクター  
「いくべえ」

# 震災の復興対策、地方財政基盤の充実・強化等を訴える 25年度重点施策の国会議員説明会

県・市長会・町村会三者合同で



越善会長が町村財政基盤の充実・強化等を訴える

本会は、県、県市長会の三者合同により、七月七日、青森市のホテル青森で平成二十五年度重点施策の国会議員説明会を開催した。

本会からは越善会長、須藤副会長、関副会長をはじめ役員町村長十三人が出席し、県選出国会議員に対し、東日本大震災の復興対策や、地方財政基盤の充実・強化など七項目の重点施策を説明し、実現へ協力を求めた。



説明会には関係者約130人が出席

説明会には、県選出国会議員の横山北斗衆議院議員、木村太郎衆議院議員、津島恭一衆議院議員、中野渡詔子衆議院議員、高橋千鶴子衆議院議員、山崎力参議院議員、平山幸司参議院議員、赤石清美参議院議員ほか代理として各国会議員秘書が出席した。また、本会からは越善会長、須藤、関副会長をはじめ役員

の十三町村長、県からは三村知事ほか副知事と関係部局長、県市長会からは鹿内会長（青森市長）ほか各市長（代理含む）など、約百三十人が出席した。

同説明会では、はじめに、県は三村知事のあいさつに引き続き、地方交付税の増額、「創造的復興」を実現するための財政支援など、十六項目

の重点施策を担当部局長が説明した。本会からは、まず越善会長があいさつの中で「東日本大震災は復旧から復興へと歩みを進めてきた。引き続き復興への取り組みをお願いする。また、町村が自主的、主体的な地域づくりを進めるためには、その前提となる町村財政基盤の充実・強化が不可欠である」と述べ、本会事務局から、東日本大震災の復興対策、地方財政基盤の充



説明会には県選出国議員 8人が出席



県説明の冒頭で三村知事があいさつ

## 本会重点施策の説明項目

1. 東日本大震災の復興対策に関する提案
2. 平成25年度政府予算編成及び施策に関する提案
  - (1) 地方財政基盤の充実・強化について
  - (2) 医療・保健・福祉施策の強力な推進について
    - ①地域医療の確保・充実及び総合的な子育て支援について
    - ②国民健康保険制度等の円滑な実施について
  - (3) 農林水産業の振興について
    - ①TPP交渉について
    - ②農業の振興について
    - ③林業の振興について
    - ④水産業の振興について
  - (4) 社会基盤の整備について
  - (5) 環境保全対策の推進について
  - (6) 学校施設等の防災機能の強化及び統廃合に係る財政支援について



津島国土交通大臣政務官（左から2人目）へ要望

### 関係省庁等に 重点施策提案活動

実・強化など、七項目の重点施策を説明した。（本会重点施策の説明項目は上記のとおり）。

また、市長会からは、少人数学級編成の更なる推進など、九項目の重点施策が説明された。

本会の越善会長はじめ県、市長会は、七月十二日、東京都内において、民主党、自由民主党のほか、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省並びに県選出国議員に対し、平成二十五年度の重点施策提案を行い、本県の実情を訴え、施策の実現について強く求めた。

# 東日本大震災の

## 復興対策など

### 14項目を提言

平均寿命の延伸、地域防災活動の推進で意見交換

県は、七月十日、青森市のラ・プラス青い森で平成二十四年度市町村長会議（町村の部）を開催した。本会から越善会長、須藤、関西副会長はじめ各町村長が出席し、県に対して、東日本大震災の復興対策など十四項目の提言事項を説明し、実現を強く訴えた。



本会の提言事項を説明する越善会長

会議には、県側から三村知事ほか関係部局長、各地域県民局長と、本会からは越善会長をはじめ県内全三十町村長と各郡町村会事務局長等が出席した。

主催者の三村知事あいさつに続き、越善会長が県に対する十四項目の提言を述べ、県担当部局からは、当日回答の八項目に対する所見が述べられた。（概要は後述のとおり）次に、県・町村共通の政策課題として、県提出の「平均寿命の延伸に向けた取組について」、及び本会提出の「地域防災活動の推進について」をテーマに活発な議論が行われた。

#### 本会提言に対する県所見

（会議当日回答分、一部抜粋、項目番号は左頁の提言項目番号に符合）

号に符合）

1. 東日本大震災の復興対策について 被災市町村の復興・復興事業経費に所要の財政措置が十分に講じられるよう国に働きかける。県産農林水産物の放射性物質モニタリング調査を実施し、専用ホームページで国内外への情報発信を強化する。地域防災計画（原子力編）は、対象市町村の修正に向けて適時適切な情報提供を行う。
2. 町村財政基盤の充実強化について ① これまでも全国知事会等を通じ、地方交付税の財源保障機能及び財源調整機能の強化及び総額の確保等を強く求めてきた。今後も連携を一層密にしながら、地方的安定的な財政運営に必要となる地方交付税総額の確保に向けて、国に対し訴えていく。
7. 地域医療対策について ① 内科医等の確保は「今あるマシパワー」で可能な限り良質な医療の提供体制を創りあげていく」との観点から、県とともに自治体病院機能再編成に取り組んでいきたい。今後とも弘前大学をはじめ関係機関と協議しながら市町村の努力に込めるべく、地域医療の確保・充実に努めていく。
10. 雇用施策の推進について ① 総合販売戦略や農林水産業の六次産業化、本県の特性を活かした新産業の創造と育成、戦略的企業誘致、東北新幹線を活用した観光産業の振興に取り組みむとともに、輸出の拡大促進や、外国人観光客の誘致なども強力に進め、地域経済の活性化と雇用の創出・拡大に取り組みんでいく。
11. 農林水産業の振興について ③ 新たな米の優良品種の開発について ① 地方独立行政法人青森県産業技術センターでは、耐病性や耐冷性に優れた良食味品種の開発を基本方向として進めており、「コシヒカリ」級の極良食味で安定生産が可能な品種の育成に取り組んでいる。今年度も現地適応性試験を五系統で実施する。
- ⑤ 県産農林水産品の輸出促進について ② 米の輸出検査体制の整備について ① 国はさらなる輸出数量の拡大を図るため、指定精米工場及び登録くん蒸倉庫を



三村知事が県と町村の一層の連携を呼び掛ける

増やすこととしており、国による審査や中国側の調査を経て新たな指定等が行われる。

(8) TPP交渉について  
WTO農業交渉の日本提案の基本理念である「多様な農業の共存」の立場を堅持し、国内農林水産業の振興と農山漁村地域の活性化を損なうことのないよう対応することが重要であり、今後とも機会を捉えて交渉不参加を国に働きかけていく。

(11) 水産資源の回復・管理の推進について  
①サケふ化放流事業に係る体制の強化について  
国ではふ化場の施設整備費への支援、

県では稚魚買い上げを行っている。我が国へ回帰するサケ資源の維持増大に向けて、国や関係道県との情報交換に務め、放流事業に対する支援について国に働きかけていく。

12. 社会基盤の整備促進等について  
(1) 道路の整備促進及び道路整備予算の確保について  
所要の道路整備が推進されるよう、地方の道路整備に必要な予算の確保・充実とともに、道路整備が遅れている地方への重点配分について、市町村並びに関係団体等と一丸となって国に強く働きかけていく。

(5) 市町村道除排雪費に対する交付金制度等の充実について  
国による交付対象が雪害指定路線に限定されていることから、除雪対象路線の拡充や降積雪の実態を反映した柔軟な予算措置ができる市町村道への除雪の支援制度について今後とも市町村と連携を取りながら国に働きかけていく。

13. 教育施策等の推進について  
(1) 学校施設等の防災機能の強化等について  
耐震化推進のための財政支援の拡充及び防災機能を強化するために必要な予算の確保について、全国施設主管課長協議会や全国公立学校施設整備期成会を通して要望しており、今後とも国に対し働きかけていく。

14. 世界遺産白神山地の遺産登録二十周年記念事業について  
今年度は「生物多様性地域戦略」の策定に着手するほか、二十周年記念事業のプレイベントとしてシンポジウムの開催やエコツアーリズム宿泊施設の認定等の事業を行い、二十五年度の記念式典の開催に向けて準備を進めていく。

平成24年度市町村長会議(町村の部) 提言項目

- 1 東日本大震災の復興対策について
- 2 町村財政基盤の充実強化について
- 3 東北新幹線全線開業効果の継続獲得について
- 4 電子行政の推進について
- 5 海岸漂着物の廃棄処理対策について
- 6 漂流・漂着ゴミ対策の推進について
- 7 海岸漂着海藻の処理対策について
- 8 総合的な子育て支援対策の推進について
- 9 地域医療対策について
- 10 国民健康保険及び後期高齢者医療制度について
- 11 障害者保健福祉施策の推進について
- 12 雇用施策の推進について
- 13 農林水産業の振興について
- 14 担い手の確保・育成対策等について
- 15 戸別所得補償制度の着実な推進について
- 16 新たな米の優良品種の開発について
- 17 りんご生産振興対策等の推進について
- 18 りんご果実飲料の原料原産地表示について
- 19 果樹経営安定制度の創設について
- 20 りんご防除体制の強化について
- 21 県産農林水産品の輸出促進について
- 22 風評被害防止対策について
- 23 米の輸出検査体制の整備について
- 24 台湾におけるりんごの残留農薬基準の設定について
- 25 「日本一健康な土づくり運動」の推進について
- 26 農業を軸とする地域循環システムの形成について
- 27 TPP交渉について
- 28 適切な森林整備と県産材の利用促進等について
- 29 野生鳥獣被害対策の推進について
- 30 水産資源の回復・管理の推進について
- 31 サケふ化放流事業に係る体制の強化について
- 32 アユ資源を活用した地域活性化について
- 33 社会基盤の整備促進等について
- 34 道路の整備促進及び道路整備予算の確保について
- 35 主要幹線道路等の整備促進について
- 36 下北半島地域における道路交通網等の整備について
- 37 北海道新幹線「新青森・新函館(仮称)間」の開業に向けた道路整備について
- 38 市町村道除排雪費に対する交付金制度等の充実について
- 39 函館〜大間フェリー航路の恒久的運航に向けた制度の確立について
- 40 海岸沿いにある急傾斜地の避難施設及び経路等の整備促進について
- 41 海岸沿いにある急傾斜地の避難施設及び経路等の整備促進について
- 42 教育施策等の推進について
- 43 学校施設等の防災機能の強化等について
- 44 学校施設等の統廃合にかかる財政支援について
- 45 指導主事の市町村派遣について
- 46 世界遺産白神山地の遺産登録二十周年記念事業について

# 豪雪等による農業被害対策を求め県へ要望

本会は五月二十三日、県に  
対して、豪雪等による農業被  
害対策に係る要望運動を実施  
し、越善会長、館岡産業経済  
委員長が県庁を訪れ、青山副  
知事に要望書を提出した。

要望は、今冬の豪雪や四月  
上旬の暴風により農業関係の  
被害が非常に大きくなってい

ることを受け、りんご苗木の  
捕植の支援やりんご等生産に  
対する技術指導の徹底、パイ  
プハウス等農業施設被害に対  
する復旧支援を求め実施した  
もの。

副知事は、農水省等へ支援要  
望したことや、不足している

苗木に関し県内の苗木業者に  
秋から出回る補植用苗木の養  
成・確保を要請したこと、パ  
イプハウス等の復旧について  
は国が支援事業を創設したこ  
とを受け六月に市町村向けの  
説明会を開催する予定である  
こと等を説明した。  
要望内容は、次のとおり。



青山副知事に要望する越善会長と館岡産業経済委員長

## 豪雪等による農業被害対策に関する要望

今冬の豪雪により農業関係の被害が非常に大きくなっています。  
りんご関係では、りんご樹の枝折れや幹が裂ける被害をはじめ、わい  
化樹を中心に、野ネズミや野ウサギの食害が多発し、農家からは落胆の  
声が上がっております。

りんご農家の生産意欲を高め、日本のりんご産地を堅持していくため  
にも、支援が必要であります。

また、農業用パイプハウスや堆肥舎などの被害は全県にわたり、4月  
18日現在で532棟が被害を受け、そのうち約半数が全壊となるなど大き  
な被害となっております。

特に、農業用パイプハウスは、被害が大きく倒壊したハウスを個人で  
再建するのは難しいことから、生産者が意欲をなくさないためにも、支  
援が必要であります。

また、4月3日から4日にかけての暴風による農業被害対策に対しても、同様の支援が必要であります。

つきましては、県において以下の項目について特段の御高配をお願い  
いたします。

### 記

1. りんご苗木の補植への支援
2. りんご等生産に対する技術指導の徹底
3. パイプハウス等農業施設被害に対する復旧支援

## 総務厚生・産業経済両委員会を開催

### 県主要施策等について協議

本会は七月十日、青森市の  
ラ・プラス青い森で、総務厚  
生委員会並びに産業経済委員  
会を開催し、県各部署と諸案  
件について協議した。



総務厚生委員会の様子

の充実や健康づくり事業等  
の充実があり、それぞれ意見  
交換を行った。

産業経済委員会では、館岡  
委員長（板柳町長）あいさつ  
の後、県農林水産部の渋谷部  
長から「平成二十四年度県農  
林水産部の主要施策」につい  
て、農山漁村「地域経営」担  
い手育成システム確立事業等  
の説明があった。また、県商  
工労働部の馬場部長から「平  
成二十四年度県商工労働部の  
主要施策」について、地域資  
源活用による地域産業・商店  
街の活性化等の説明があり、  
それぞれ意見交換を行った。

総務厚生委員会では、古川  
委員長（六ヶ所村長）あいさ  
つの後、県総務部市町村振興  
課の大川課長から「町村にお  
ける行財政的課題等につい  
て」と題し、二十四年度地方  
財政計画のポイントや中期財  
政フレーム等の説明があった。  
また、県健康福祉部の江浪部  
長から「平成二十四年度県健  
康福祉部の主要施策」につい  
て、がん対策、救急医療体制



産業経済委員会の様子

# 県立高校改革に関して

## 県教育委員会へ要望

本会は六月十三日、県教育委員会に対して、県立高等学校教育改革第三次実施計画

(後期)に関する要望運動を実施し、須藤副会長、関副会長など関係町村長八人が県庁を訪れ、橋本県教育長に要望書を提出した。

要望は、今後、具体案が公表予定の県立高等学校教育改革第三次実施計画(後期)に関して、高等学校の縮小・閉校により地域に根づく地域力の衰退が懸念されるため、計画の策定に当たり、地域住民の意見を十分考慮するとも



須藤副会長(左)が橋本県教育長(右)に要望書を提出

### 県立高等学校教育改革第3次実施計画(後期)に関する要望

現在、青森県教育委員会は「県立高等学校教育改革第3次実施計画」に基づき、県立高等学校の統廃合を含めた見直しを進め、その第3次実施計画(後期)に関する第2回地区説明会資料では、県立弘前実業高等学校藤崎校舎の募集停止の検討をはじめ、普通高校への校舎制の導入や学級数の削減等への方向性が示されました。

青森県はもとより、全国的な少子高齢化の進行など現在の厳しい社会情勢の下では、生徒数の減少により、教育効果や学校活力の低下、学校運営への支障が懸念されるところではありますが、高等学校は、地域との繋がりが強く地域力的一端を担ってきたところであり、これを縮小・閉校することによって、これまで地域に根付いていた地域力が、今後、更に衰退することも懸念されるところであります。

つきましては、県立高等学校教育改革第3次実施計画(後期)について、今後、具体的な実施計画(後期)案が公表されることですが、地区説明会で出された地域住民の意見を十分考慮していただくとともに、地元町村の意向も十分尊重下さるようご配慮をお願いいたします。

に、地元町村の意向も十分尊重するよう配慮を求め実施したものの。  
本会からの要望に対し橋本県教育長は、説明会やパブリックコメントなどで広く意見を聞きながら、生徒数の推移なども総合的に勘案して成案を決定する、などと説明した。  
要望内容は、次のとおり。



要望には8町村長が参加

### 本会事業に協力要請

## TPPで全国町村会部長講演

町村総務課長会議



全国町村会の柴田経済農林部長が講演

部長を講師に迎え、「TPPをめぐる動き」と題し講演いただいた。

講演の中で柴田部長は、TPPをはじめとする国際貿易協定の概要を説明したほか、「既存の十一のEPAで関税撤廃をしていない全関税品目数の一割部分(農産物等)の取り扱いがTPP議論の焦点

本会は五月十一日、青森市のラ・プラス青い森で町村総務課長会議を開催した。出席者は町村総務担当課長等三十人。

会議では、本会総務課が町村長健康管理研修、顧問弁護士、公有建物災害共済事業など共済関係四項目、業務課が各種研修、町村職員採用統一試験、法令外負担金の規制など十二項目、市町村税滞納整理機構が機構の概要などについて説明し、各業務に対する理解と協力を求めた。

また、引き続き、町村農林水産担当課長を出席者に加え、全国町村会経済農林部の柴田

で、TPPは農業問題。現在、日本のTPP交渉参加は米国、オーストラリア、ニュージーランド三カ国が未承認で事前協議中だが、国からの情報が少ないこともあり、相変わらず中ぶらりんの印象などと述べた。また、米政府のパブリックコメントの結果概要やTPPによる影響の見込み、二十一分野の主なメリット、デメリット、米韓FTAの概要などを紹介。中国、インド、韓国はTPPに参加しておらず「アジアの成長」を取り組むことはできず、農林漁業との両立は困難との認識を示した。

# 国に対する提案事項を決定

## 本会理事会

本会は六月四日、青森市の県共同ビルで第三回理事会を開催した。出席者は、越善会長をはじめ役員町村長十一人。会議では、七月七日に開催される二十五年度重点施策の国会議員説明会での本会からの提案事項等を協議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。協議事項は次のとおり。

### ◎平成二十五年度政府予算編成及び施策に関する提案

#### 総務省関係

- 1 町村自治の確立及び地方財政基盤の充実・強化について
- 2 自治体病院に対する財政措置の充実・強化について
- 3 情報化施策の推進について

#### 文部科学省、文化庁関係

- 1 核融合研究開発を行う国際研究拠点の整備について
- 2 野生鳥獣の保護管理事業の充実・強化について
- 3 学校施設等の防災機能の強化及び統廃合に係る財政支援について
- 4 就学援助制度の充実について

### ◎東日本大震災の復興対策に関する提案

#### 厚生労働省関係

- 1 防災対策の強化について
- 2 原子力施設等の安全対策等について
- 3 観光客の誘致について

- 3 介護保険制度の円滑な運営について

- 4 国民健康保険制度等の円滑な実施について
- 5 障害者保健福祉施策の推進について
- 6 雇用施策の充実・強化について

#### 農林水産省関係

- 1 農業の振興について
- 2 林業の振興について
- 3 水産業の振興について

#### 経済産業省、資源エネルギー庁、原子力安全・保安院関係

- 1 原子力施設の安全対策について
- 2 電源地域振興のための交付金制度の拡充について
- 3 高レベル放射性廃棄物の最終処分に係る施策の推進について

#### 国土交通省関係

- 1 道路の整備等について
- 2 県土の安全性の確保と向上等について
- 3 津軽ダム建設事業の整備促進について
- 4 観光客の誘致について

#### 環境省関係

- 1 環境保全対策の推進について
- 2 野生鳥獣の保護管理事業の充実・強化について

## 効果的な面接技法とは

### 面接試験技法研修会

本会は、県市長会、県市町村振興協会との共催により、七月三日、青森市のアップルパレス青森で、面接試験技法研修会を開催した。出席者は市町村の人事担当管理職員等二十五人。

山口常務理事兼事務局長のあいさつに続き、研修会では、財団法人公務人材開発協会の福島一夫氏が面接試験の基礎知識や質問・評価の技法等について説明した。

福島氏は「筆記試験と同様、面接試験も公正性、統一性、客観性など試験としての要件を満たすことが必要。そのためには、構造化の導入により標準化の水準を高めたうえで、関連資料を整備活用しながら、焦点を絞り、展開し掘り下げていく質問の技法と、公正、的確で偏りない評価の技法が求められる」と述べた。

また、面接者の心構えについて、「採用対象職務の内容、求める人物像を理解すること。また、受験者の信頼感につながるよう、円熟した落ち着いた態度での面接を心がけること。さらには、人を評価することの意味と難しさを十分認識し偏見のない柔軟な考え方で、客観的に評価を行うこと。面接の場が組織の窓口であることの自覚を持っていただきたい」などと述べた。

研修会では、模擬面接試験のDVDを観賞し、三人の面接試験官の悪い例と良い例の言葉使いや態度などについて、各グループに分かれて討議し意見交換・発表したほか、グループ別のロールプレイ方式による模擬面接実習を行い、問題点等を各グループに分かれて討議した。



面接技法の理解を深めた研修会の様子

# 台湾での日本産品の現状を学ぶ



一行は公益財団法人交流協会を訪問

本産品（食品）の現状等について説明があった。

説明では、台湾における日本産品は、台湾が指折りの親日地域であることからイメージは良く、高級百貨店やスーパーマーケット等のいたるところで目にする事ができる。

台湾人の消費傾向として、ブランド、ネームバリューに弱いことや、台湾で日本のテレビ番組が放送されていることから、食の情報に限らず、有名店、地域文化、観光等の情報にも詳しい。このため、もともと日本に興味のある台湾人が多いため、日本の食品単独の売り込みではなく、日本の地域文化、観光等と絡めた売り方で引きつけられる台湾人が多い。

台湾では贈答品市場が存在し、春節、中秋節に合わせて贈り物をする習慣があり、この時期に日本産品の「高品質」「高価格」なりんごが売れている。

また、現在、台北市内では、健康志向の高まりから、健康食品シヨップが増加中なことや、二十〜三十歳代の購買力の大きい独身の女性の健康志向に合わせた商品も増えている。

町村長から台湾人の「米」の食べ方や、本県の商品の売り込み等の質問に対しては、ご飯に何か乗せて食べることから、日本人ほど「米」の味にこだわっていないことや、日本から台湾への輸出については、例えば大きなりんごや、健康志向が強いことから長生きできる健康食品としての「ナガイモ」の売り込み等の意見が出された。

そのほか、台北市内にあるシティスーパー復興店の日本食品の販売状況について、同店のトニー社長から店内の販売状況の説明を受け、店内に陳列されている本県の商品のほか、米等の食品・飲料品等、日本の商品の販売状況を視察した。

また、五月二十五日から開催された「2012台北国際観光博覧会」に本県町村の観光パンフレットを青森県ブースに置きPRを図った。

## 全国町村長大会前後の関係団体大会・会議等予定一覧表

平成24年7月17日現在

月日	時間	大会・会議等	会場	電話	主催者	電話
11月16日(金)	13:00	全国過疎地域自立促進連盟第43回定期総会	メルパルク東京	03-3459-5501	全国過疎地域自立促進連盟	03-3580-3070
11月20日(火)	11:00	土砂災害から人命と地域を守る砂防会議	砂防会館別館	03-3261-8386	全国治水砂防協会	03-3261-8386
11月20日(火)	17:00	県選出国会議員との懇談会	ホテルニューオータニ	03-3265-1111	青森県町村会	017-723-1331
	12:00	全国町村長大会	NHKホール	03-3465-1751	全国町村会(行政部)	03-3581-0483
	15:30	北東北三県町村長中央研修会	ホテルニューオータニ	03-3265-1111	青森県町村会	017-723-1331
11月21日(水)	17:15	北東北三県町村長中央交流会	ホテルニューオータニ	03-3265-1111	青森県町村会	017-723-1331
	10:00	水産業振興・漁村活性化推進大会	全国町村会館	03-3581-0471	全国市町村水産業振興対策協議会	03-3581-0485
11月22日(木)	10:00	第57回簡易水道整備促進全国大会	砂防会館別館	03-3261-8386	全国簡易水道協議会	03-3581-3751
11月22日(木)	10:30	全国山村振興連盟通常総会	グランドアーク半蔵門	03-3288-0111	全国山村振興連盟	03-3581-7527
11月22日(木)	13:30	国保制度改善強化全国大会	日比谷公会堂	03-3591-6388	国民健康保険中央会	03-3581-6821
11月22日(木)	14:00	全国観光地所在町村協議会総会	全国町村会館	03-3581-0471	全国観光地所在町村協議会	03-3581-0484
11月29日(木)	13:00	全国浄化槽推進市町村協議会通常総会	グランドヒル市ヶ谷	03-3268-0111	全国浄化槽推進市町村協議会	03-3635-4888
11月29日(木)	13:30	安全・安心の道づくりを求める全国大会	日比谷公会堂	03-3591-6388	全国道路利用者会議	03-3501-5611
					道路整備促進期成同盟会全国協議会	03-3234-1707
					全国高速道路建設協議会	03-5212-9147
					全国街路事業促進協議会	03-5320-5247
11月30日(金)	14:00	治水事業促進全国大会	砂防会館別館	03-3261-8386	全国治水期成同盟会連合会	03-3222-6663

※「半島振興対策促進大会」(主催:全国半島振興市町村協議会他)の開催日時・会場は未定。

# 24年度事業計画・予算等を決定 各団 thể理事会・総会

本会に事務局を置く三つの各団體は、六月四日、青森市の県共同ビルで二十四年度理事会、総会を開催した。

各団體は、二十三年度事業報告・収支決算、二十四年度事業計画・収支予算等を審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

また、全国山村過疎地域振興連盟県支部は、任期満了に伴う役員を選任を行った。各団體の理事会、総会の概要は次のとおり。

**青森県広報広聴協議会**  
理事会には越善会長（東通村長）をはじめ、理事十一人（代理含む）が出席し、収支予算等を承認、決定した。

**全国山村過疎地域振興連盟青森県支部**  
理事会には、太田支部長（佐井村長）、野坂副支部長（横浜町長）をはじめ理事十二人が出席し、収支予算等を承認、決定した。

また、任期満了に伴う正・副支部長の選任を行い、支部長に太田佐井村長（過疎地域対策部会長兼任）、副支部長に野坂横浜町長（山村振興部会長兼任）と森内外ヶ浜町長をそれぞれ選任した。

**発電関係市町村全国協議会青森県支部**  
総会には、関支部長（西目屋村長）をはじめ会員市町村より五人が出席し、収支予算等を承認、決定した。



県広報広聴協議会理事会の様子

## 本会に事務局を置く各団體役員名簿（平成24年7月1日現在）

<b>青森県広報広聴協議会</b> (会員数 2 県・40 市町村)									
<b>会長</b> 越善 靖夫 (東通村長)									
<b>副会長</b> 鹿内 博 (青森市長) 小山内 豊彦 (県企画政策部長)									
<b>理事</b> 葛西 憲之 (弘前市長) 小林 眞 (八戸市長) 鳴海 広道 (黒石市長) 平山 誠敏 (五所川原市長) 小山田 久 (十和田市長) 宮下 順一郎 (むつ市長) 福島 弘芳 (つがる市長) 大川 喜代治 (平川市長) 森内 勇 (外ヶ浜町長) 吉田 満 (深浦町長) 鈴木 孝雄 (田舎館村長) 野坂 充 (横浜町長) 金澤 満春 (大間町長) 浜谷 豊美 (階上町長)									
<b>支部長</b> 太田 健一 (佐井村長) (過)									
<b>副支部長</b> 野坂 充 (横浜町長) (山・過) 森内 勇 (山村振興部会長兼任) (外ヶ浜町長) (山)									
<b>理事</b> 平山 誠敏 (五所川原市長) (過) 大川 喜代治 (平川市長) (山) 船橋 茂久 (平内町長) (過) 東條 昭彦 (鱒ヶ沢町長) (過) 関 和典 (西目屋村長) (山) 山田 年伸 (大鰐町長) (過) 小野 俊逸 (中泊町長) (山) 飯田 浩一 (風間浦村長) (山) 竹原 義人 (三戸町長) (過) 須藤 良美 (新郷村長) (山) (山) は山村担当理事 (過) は過疎担当理事									
<b>支部長</b> 関 和典 (西目屋村長)									
<b>副支部長</b> 竹原 義人 (三戸町長)									
<b>会員</b> 青森市 黒石市 十和田市 平川市 鱒ヶ沢町 深浦町									
<b>青森県町村会内部団体協議会 共通監事</b> 種市 一正 (三沢市長) 古川 健治 (六ヶ所村長) 東條 昭彦 (鱒ヶ沢町長)									
<b>発電関係市町村全国協議会青森県支部</b> (会員数 2 8 市町村)									
<b>全国山村過疎地域振興連盟青森県支部</b> (会員数 2 28 市町村)									

# 市町村自治研修会 開催のお知らせ

1 日時  
平成24年8月9日(木) 13:00～16:15

2 場所  
ホテルクラウンパレス青森  
2階「奥入瀬」  
青森市本町5-5-4 電話017-775-1151

3 講師及びテーマ  
講演1 「舞台裏から見た政治経済の行方」  
講師：テレビ朝日コメンテーター  
三反園 訓 氏  
講演2 「青森県の経済産業を考える  
- 『青森県基本計画』  
にもふれて-」  
講師：青森地域社会研究所  
特別顧問  
末永 洋一 氏

※詳細は、本会業務課 (017-723-1331)  
までお問い合わせ願います。

## 協議会を解散 県農対協・林対協

本会に事務局を置く青森県市町村農業農村振興対策協議会(会長・館岡板柳町長)並びに青森県市町村林野振興対策協議会(会長・古川蓬田村長)は、四月、両協議会の解散等を議題とする臨時総会を開催し、議案は全会一致により原案のとおり議決され、平成二十四年四月二十日をもって発展的に解散した。

これまで両協議会は、昨年度の理事会での協議を踏まえ、会員市町村に対し両協議会の解散も含めた「今後の対応」について意向調査を実施しており、全ての会員市町村より解散について賛意が示されていた。

また、本年一月、全国市町村農業農村振興対策協議会並びに全国市町村林野振興対策協議会が解散したほか、東北六県農業農村振興対策協議会並びに北海道東北ブロック市町村林野振興対策連絡協議会も、三月末をもって解散した。

### ● 今後の主な行事予定

本会理事会  
8月9日(木) 11時  
青森市・県共同ビル  
県立高等学校教育改革第3次実施計画「後期」(案)に係る市町村長への説明会及び意見交換会  
8月17日(金) 14時  
青森市・ラ・プラス青い森町  
町長健康管理研修  
8月21日(火)～23日(木)  
鱒ヶ沢町、青森市

# 青森県町村長等名簿

平成24年7月20日現在  
町村数30町村(22町8村)

区 分		町 村 長	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長
東郡	平内町	船橋茂久	S24.7.17	1	27.11.14	山田光昭
	今別町	小鹿正義	S6.2.18	3	25.10.12	阿部義治
	外ヶ浜町	森内勇	S13.3.2	2	25.4.23	
	蓬田村	古川正隆	S22.6.2	4	25.11.8	
西郡	鱒ヶ沢町	東條昭彦	S16.4.15	1	25.12.26	長内仁
	深浦町	吉田満	S28.9.9	1	24.12.20	本田満生
中郡	西目屋村	関和典	S42.2.24	2	26.2.25	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32.6.2	1	27.11.19	
	大鰐町	山田年伸	S27.3.11	1	26.7.21	
	田舎館村	鈴木孝雄	S12.2.10	2	24.11.17	
北郡	板柳町	館岡一郎	S18.3.4	4	27.4.29	成田誠一
	鶴田町	中野撃司	S4.11.7	10	26.8.20	山本一郎
	中泊町	小野俊逸	S17.7.29	4	25.4.23	
上北郡	野辺地町	中谷純逸	S24.8.16	1	27.10.26	杉田三生
	七戸町	小又勉	S24.1.2	2	25.4.23	大平均
	六戸町	吉田豊	S25.3.28	6	28.1.27	保土澤正教
	横浜町	野坂充	S26.1.31	2	24.12.11	新渡喜広
	東北町	斗賀壽一	S19.7.2	1	25.4.23	蛭名敏治
	おいらせ町	成田隆	S26.2.4	1	26.3.25	西館芳信
下北郡	六ヶ所村	古川健治	S9.5.28	3	26.7.6	戸田衛
	大間町	金澤満春	S25.3.9	2	25.1.18	菊池武利
	東通村	越善靖夫	S17.1.7	4	25.4.12	林春美
	風間浦村	飯田浩一	S35.5.5	1	27.4.23	
三戸郡	佐井村	太田健一	S26.11.25	3	25.4.21	
	三戸町	竹原義人	S25.11.28	1	24.12.15	
	五戸町	三浦正名	S29.1.1	4	27.6.26	鳥谷部禮三郎
	田子町	山本晴美	S39.4.10	1	28.1.14	
	南部町	工藤祐直	S30.5.22	4	26.2.11	坂本勝二
新郷村	階上町	浜谷豊美	S31.8.23	2	25.12.23	久保和子
	新郷村	須藤良美	S15.3.29	2	25.5.28	横田孝夫



問い合わせ先 平内町漁業協同組合 指導課  
TEL 017-755-4111

「漁船で行GO！（いご〜）」は、平内町の土屋漁業研究会が平成19年から実施しているもので、陸奥湾の美しい景色を満喫しながら「ほたて養殖」をはじめ、色々な魚がとれる「刺し網漁」もしくは「カゴ漁」が体験・学習できます。ほたて養殖などの平内町の漁業について、漁師さんのお話を聞いたり、近くを飛ぶゴメ（かもめ）に餌をあげたりと普段体験できないことばかりです。

詳細は、平内町ホームページでご確認ください。

<http://www.town.hiranai.aomori.jp/index.cfm/1.html>

むつ湾の素晴らしい眺望と  
漁業体験で自然を満喫しよう！

いまが旬!  
平内町  
ひらないまち

東津軽郡



問い合わせ先 西目屋村総務課商工観光係  
TEL 0172-85-2800

世界自然遺産白神山地のバッファゾーン内にある暗門の滝歩道が7月開通します。暗門の滝歩道は暗門川沿いに歩道が整備され、手前から第3の滝、第2の滝、第1の滝と順に大きくなっていく滝を見ることができます。歩道沿いには珍しい植物や、川ではイワナの魚影を見ることがあります。大自然を満喫できる歩道となっています。

西目屋村の  
観光シーズン到来!!

いまが旬!  
西目屋村  
にしめやむら

中津軽郡



問い合わせ先 板柳町役場経済課  
TEL 0172-73-2111

「りんご灯まつり」が8月8～10日の3日間、板柳町役場を主会場に開催されます。りんごの豊作と作業の安全を祈願するこの祭りのメインは、たわわに実るりんごを表している「りんご山笠」の提灯。「ノレサ！ソレサ！」の掛け声で町内を練り歩きます。いろいろな催しもあります。

※詳しい日程が決まり次第、町ホームページなどでお知らせします。

<http://www.town.itayanagi.aomori.jp>

2012りんご灯まつり

いまが旬!  
板柳町  
いたやなぎまち

北津軽郡



問い合わせ先 フレンズライブおいらせ実行委員会 TEL0178-56-4701 (田中・佐藤)  
全国将棋祭り実行委員会 TEL 0178-52-3900

8月18日、19日の2日間、おいらせ町では熱いイベントが開催されます。下田公園縄文の森イベント広場では「10th 縄文の森チャリティフレンズライブ」を開催。音楽好きにはたまらない2日間です。ビール片手に盛り上げてみては。

みなくる館では「全国将棋祭り」が開催され、女流棋士公式戦のおいらせ対局、プロ棋士の多面指し、将棋大会など多くの将棋ファンが足を運びます。

この2日間はおいらせ町が熱い。皆さまのお越しをお待ちしています。

おいらせ町の夏のイベント  
フレンズライブ・将棋祭り

いまが旬!  
おいらせ町  
おいらせちょう

上北郡

いまが旬!

# 六ヶ所村

上北郡

ろっかしよむら

初夏、海と祭りを楽しみませんか

六ヶ所村泊地区で7月18～20日の3日間、泊例大祭が開催されます。

18日は諏訪神社、20日は貴宝山神社を起点に神輿や山車、流し踊りなどのパレードが行われ、19日の港まつりでは大漁祈願祭が開かれ、夜には花火が打ち上げられます。

この時期は、スルメイカなど泊自慢の海産物が豊富にとれ、港まつりでも味わうことができます。

初夏のにぎやかな祭りと、新鮮な海産物を味わいにどうぞお越しください。



問い合わせ先 はまなす農業協同組合佐井連絡所  
TEL 0175-72-2111 (内線 262～264)

いまが旬!

# 大間町

下北郡

おおままち

大間の大地でゆっくり育った『オコッペいもっこ』

大間町奥戸(おこっぺ)地区で伝承され続けている「オコッペいもっこ」。

明治38年に青森県がアメリカから導入し、購入価格がわずかに6個で3円もした(当時は白米1俵5円30銭)ことから、「三円いも」と名付けられました。

ビタミンCなどの栄養素も豊富で疲労回復などの効果があり、煮えやすく粉をふく性質と美味しさが好評で県内外から注文が寄せられます。ぜひ一度ご賞味ください。



問い合わせ先 はまなす農業協同組合佐井連絡所  
TEL 0175-38-2016

いまが旬!

# 南部町

三戸郡

なんぶちょう

古式ゆかしい大名行列が練り歩く

南部まつりが8月19日、三戸駅周辺で開催されます。南部藩発祥の地という由緒ある古い歴史を背景に、豪華絢爛な大名行列、古式ゆかしい奥方行列を中心とした一大絵巻が展開されます。山車のお囃子競演や郷土芸能の披露などで華やかなまつりを一層盛り上げ、観客を魅了します。

また南部まつり前日には「なんぶサマーフェスティバル」も行われ、アーティストによるライブや迫力ある花火が、夏の夜空を鮮やかに彩ります。



問い合わせ先 南部町役場商工観光課  
TEL 0178-76-3230

いまが旬!

# 階上町

三戸郡

はしかみちょう

体験交流施設がオープン! わっせ交流センター

閉校した小学校を活用した体験交流施設「わっせ交流センター」がオープン! 階上そばや郷土料理を味わえる食堂や特産品の販売をはじめ、そば打ち体験のほか豆腐作りやみそ作りなどの体験イベントも開催しています。木造校舎の木のぬくもりや地元の人たちのあたたかさに触れられる「わっせ」にぜひ一度遊びに来てください!

■営業日 毎週土・日(12/29～1/3除く)

■営業時間 10:00～15:00

※団体の場合は平日利用も可能です。詳しくはお問い合わせください。



問い合わせ先 わっせ交流センター  
TEL 0178-88-2709

## ● 共済契約できる自動車

1. あなたの所有する
2. あなたと同一世帯に属する親族（同居の親族）の所有する

- 自家用普通・小型乗用自動車
- 自家用軽四輪自動車
- 自動二輪車 ● 原動機付自転車

## ● 共済掛金と共済金額

用途及び車種区分		共済掛金額（年間）			
		自家用普通・小型乗用 小型貨物車(660cc超)	自家用軽四輪乗用 貨物車(660cc以下)	自動二輪車 (125CC超)	原動機付自転車 (125CC以下)
A型	対人賠償	30,000円	19,000円	17,000円	12,000円
	対物賠償				
	自損事故傷害共済				
	限定搭乗者				
B型	対人賠償	33,000円	21,000円	20,000円	14,000円
	対物賠償				
	自損事故傷害共済				
	限定搭乗者				

※無共済等自動車傷害共済・他者運転特約も自動付帯。 ※自賠責保険と共済金の一括払も実施しています。

### 町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

町村生協の自動車共済にご加入の方のみ、車両共済(保険)に加入できます

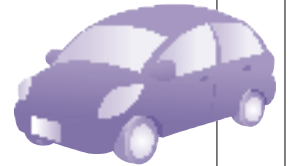
- 町村生協の自動車共済で過去3年間無事故で、新たに車両共済(保険)に加入する場合、新規契約と比較して

**40%割引（9等級）からスタート！**

- 一括払いでご契約の場合は、さらに **5%割引！**
- 保険料分割払（12回）も選択可能です。
- ロードサービスも無料でサービス！

いつでもご加入いただけますので下記までお問い合わせ願います。

問合せ先 全国町村職員生活協同組合青森県支部  
青森県町村会総務課〔共済事業〕 TEL017(723)1331



## 総合賠償補償保険制度を説明

### 事務担当者研修会

本会は四月十七日、青森市の県共同ビルで総合賠償補償保険事務担当者研修会を開催した。出席者は市町村の担当者約四十名。

研修会では、はじめに本会の山口常務理事が「本保険制度の趣旨は、市町村の法律上の賠償金の支出による財政負担の軽減と、スムーズな賠償問題の解決により行政の円滑化に寄与することである。今後とも本保険制度に対するご支援ご協力を賜りたい」とあいさつした。

引き続き、本保険幹事会社である(株)損害保険ジャパンの恩田青森サービスセンター課長あいさつの後、全国町村会総合賠償補償保険の概要と事故処理について同社担当者が説明し「賠償補償事案が年々複雑多様化、賠償額も高額化の傾向があり、住民の損害賠償請求の意識も変化している。市町村が所有者や管理者に法律上の責任がある事故によって他人の財物・身体等

を害した場合、被害者に対する賠償義務が発生する。法律的賠償責任があると判断された場合、その過失割合に応じて総合賠償保険の対象となる。事故が発生した場合は、速やかに青森サービスセンターか町村会へ連絡し、事案の早期解決を図っていただきたい」などと述べたほか、冬季に多く発生する事故・施設の屋根からの落雪や道路の穴凹事故など事例を交えて紹介した。

最後に、本会事務局が二十四年度更新加入事務と事故報告書の取扱い及び二十三年加入状況、支払い実績等を説明し、本保険制度に対する理解と協力を求めた。



制度の理解を深める参加者

確かな安心を！

# 住宅火災共済



## 安い掛金で大きな補償を

### ●共済契約できる物件

- あなたの所有する居住用建物、または、その建物内にある動産
- あなたと同一世帯に属する親族が所有し、かつ、あなたが現に同居している建物または、その建物内にある動産

### ●共済掛金と共済金額

共済掛金（年額）は共済契約1口（10万円）につき60円です。

契約額の最高限度は、600口で、6,000万円が限度です。

共 済 契 約 の 最 高 限 度			
区 分	口 数	共済金額	共済掛金
建物のみの場合	400口	4,000万円	24,000円
動産のみの場合	200口	2,000万円	12,000円
建物と動産を併せた場合	600口	6,000万円	36,000円

### 風水雪害特約制度

風水雪害特約制度は、風水雪害による損害について、火災共済契約に任意に付加することにより共済金を支払う特約制度です。特約を付加していない場合、風災、水災又は雪災による損害は、損害額が50万円以上の場合、損害の程度に応じ給付され、全損の場合では100分の10又は450万円のいずれか低い額の給付ですが、特約に加入することにより、火災共済契約の風水雪害共済金に加算して風水雪害特約共済金を損害額の50%又は火災共済契約額の50%のいずれか少ない額を限度に支払います。（ただし、風水雪害共済金と特約共済金の支払合計額が3,000万円を超える場合、3,000万円が限度となります。）特約共済掛金は、一口10万円につき50円です。（火災共済契約と同額を特約共済金額とします。）



## 各種共済事業を説明

### 災害共済関係事業事務研修打合会

本会は六月五日、青森市のアップルパレス青森で災害共済関係事業事務研修打合会を開催した。出席者は市町村及び一部事務組合等の事務担当者約百十人。

はじめに本会の山口常務理事が「相互救済を原則とする、共済事業の安定的な運営は、加入団体と加入者によって支えられているものであり、事業の更なる充実強化とサービスの維持向上を図るためには、事務を担当されている皆様方のご理解とご協力が不可欠である。今後も皆様方のご要望に応える事業としていき「たい」とあいさつした。

打合会では、全国町村会公有物件課の戸田課長が、今冬の豪雪・落雷に伴う公有建物共済金の填補責任や共済金請求に係る留意点をはじめ、公有建物共済全般について説明したほか、同庶務課の堀江課長が、二十五年の更新期より特定疾病保険制度が改正され、幹事会社が損害保険ジャパン

となり、全国町村職員生活協同組合が制度運営にあたることの報告と変更項目の説明があったほか、新制度の契約移行の際の協力要請があった。

また事務局からは、生協火災・自動車共済事業、任意共済・特定疾病保険事業、弔慰金事業、個人年金共済事業の概要並びに更新事務手続きや、公有・生協事故報告及び共済金請求に伴う事務手続き等を説明したほか、車両保険幹事会社である損害保険ジャパン青森支社より車両共済の説明があった。

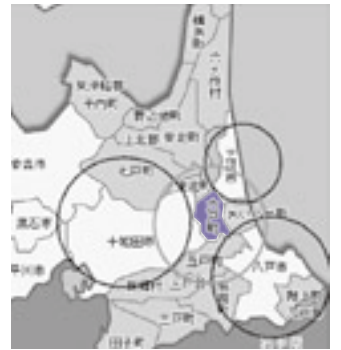


共済事業の更新事務手続き等を説明

# 随想

## 第14話

# わが町 六戸



ゆたか  
**豊**  
六戸町長

よしだ  
**吉田**

### プロフィール

町議会議長。現在5期目。62歳。

わが町、六戸町は青森県の東南部に位置し、町域は、細長い沖積平野からなり、町の南部地区を奥入瀬川が流れ、東西十キロメートル、南北十五キロメートルで南北にやや長い形をしており、総面積は八十四・〇六平方キロメートルに、人口一万六百三十四人（平成二十四年六月三十日現在）が生活している。

そして県南にある八戸、三沢と十和田三市の三角形のほぼ真ん中に位置しており、道も縦横無尽にあることから六戸町のどこからでも県南三市へは十分から三十分で行き来ができる。私は、自然に恵まれ、住まうに便利なこの町が大好きであり、誇りに思っている。

そのような町の町長に私は一九九八年一月に就任した。国家財政が逼迫しているこ

とは今ほど語られてはいなかったが、地方に対してだけは行財政改革が大きく求められている時であった。

町長に就任して自主財源の乏しい地方自治体が改革するには何が必要かと考えてみたところ、社会の状況がどうあるうとも従来からの「予算至上主義」と「単年度決算」にこだわり「当初予算確保に全力を尽くすのが絶対」と思い込んでしまっていることへの疑問だった。

私は予算編成の基本は守りつつも、長年の当初予算確保だけにこだわる固定概念を打破して、財政改革に役立つ手法を取り入れることとした。おりしも自治体の電子化が叫ばれていたので、電子機器でもって通帳へ金額が直ちに記帳されるのと同じように、予算の執行額をリアルタイムで

管理し町財政の把握をするようにした。

幸いに当町の電子化の動きは早く、一九八四年にはワードプロセッサを三台導入していた。一九八七年には汎用コンピュータを導入し、一九八八年には住民情報システムが本稼動している。すでに職員には電子機器に対する理解と知識があったので、行財政改革に役立つ電子機器の活用や電磁式記録投票を実施することができた。早くからデジタル社会を見通した先人たちの下地を基礎として、今日の六戸町における財政調整手法が成り立っていると云える。

また執行された予算の事務処理を最短で行ない、各予算執行項目から発生する大小の不用額をどこかに留まらせることはせず、有効な財源と捉え、予算のセクション枠を越えて合体させ、直ちに補正予算で次なる事業に対応できるよう予算の再構築を行い、年度末までそれを繰り返してきた。

さらには今までのやり方を変化させるものなので、電子化プランを推し進めた当初は

コンセプトを多くの職員には話さなかった。若干は強引だったと思うが、まず実行ありきで、町の単独予算ではあるがLAN配線工事の実施と全職員へのパソコン配備プランを作った。多額な経費を要する役所データのデジタル化に関しては、国の補助事業で優先的に行った。

現在でもまだ当町は、下水道事業などの大きな荷物を背負ってはいるが、電子化による町財政応用策が効を奏して、三位一体改革で地方交付税の減額を強いられるなど弱小自治体に追い討ちをかけるような厳しい状況があったにもかかわらず、予算の有効な展開と順調な債務削減を実施している。

最後に人の意見は様々であるが、古い言葉に「万機公論に決すべし」とある。これからも広く町民のみなさんと議論を重ね、結論は遅くとも衆知を尽くし、納得合意の上、行財政運営に努め、この厳しい難局を一步步解決しながら着実に前進して行くことが、明るい未来に繋がると信じている所存である。